

# 道徳科学習指導案

令和2年11月27日（金）第5校時 第2学年

- 1 **主題名** 情報モラルと友情（内容項目 B－（8）友情、信頼）  
**資料名** 「ゴール」（東京書籍 新しい道徳2）

## 2 主題設定の理由

### （1）ねらいとする価値

本主題は、学習指導要領の内容項目B－（8）「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」をねらいとしている。また、内容項目の概要には、「心から信頼できる友達を求め、友達への期待も強まる時期に、友達との関係に、時には悩み、友達であるからこそ意見がぶつかることもある。青年前期にある中学生は、心身の成長は目覚ましいが、不安定な時期でもある。感情の起伏が目立ち、ともすると些細なことから感情の行き違いが生じ、せつかくの友達関係が台無しになることもあるが、これらの悩みや葛藤を乗り越えることで、真の友情は培われていくものである。」とある。

中学生は、体育祭や合唱コンクール、校外学習など、諸行事における学習を通じ、友人と話し合い、行動を共にしながらお互いの気持ちを伝え合って成長していく。一方、近年の SNS やインターネットの発達に伴い、文字や画像を直感的に相手に送信し、やり取りをすることができるツールが中学生の身近になった。直接相対し、表情や動作を交えて思いを伝える従来までのやり方とは異なり、離れた場所にいる相手ともコミュニケーションを図ることは便利に思える。しかし、使い方を誤ると、自分の意図したこととは異なる伝わり方をしてしまう事例もある。非常に心が不安定な思春期において、このような些細なすれ違いから、中学生同士の関係が大きく壊れてしまう恐れがある。そこで、正しい SNS の使い方を考えることを通して、よりよい人間関係を構築し、真の友情とは何なのか考えようとすることは重要であると考ええる。

### （2）生徒の実態

省略

### （3）資料について

本資料は、バスケットボール部に所属する女子生徒5人が、ライバルのチームに勝つために互いの意思を共有しようと、メッセージアプリを使用し始めるところから始まる。しかし、練習試合で負けた理由を振り返るために書き込んだはずのメッセージが、その意図とは異なって相手に伝わり、お互いの関係が壊れ始めてしまう。資料に提示されたメッセージアプリのやり取りでは、各々が言いたいことを自由につぶやき、話題が焦点化されていない。そして、本来伝えたかった思いが誤って伝わり、すれ違いの原因を作り出している。それぞれの発言がどのように誤って伝わったのかと、本当の想いを対比させながら、正しい言葉の使い方を考えさせたい。

## 3 指導方針

### ○事前指導として

- ・2学期にインターネット環境に関する意識調査を行い、SNSの使用率やネットトラ

ブルの事例などを紹介した。生徒は、親しい間柄でも SNS を介して人間関係が崩れてしまうことを学んだ。

- ・事前に教科書本文を下読みしてもらい、予備知識を踏まえた上で学習に取り組めるようにする。

#### ○本時の学習として

- ・導入では、誤解を生んでしまった SNS での発言例を取り上げ、言葉の書き方によっては発言者の意図しない伝わり方をする可能性があることに気付かせ、問題提起を行う。
- ・中心発問では、発表の際に意見交流を行い、様々な考え方があることに気付かせたい。
- ・生徒の発言時に切り返し発問を活用し、どうすれば相手を信頼できるのか、友達ならばどんなことを言ってもいいのかなどの発問から、真の友情について考えを深めさせる。
- ・終末では、これからの生活の中で、どのようにコミュニケーションを図りながら友情を深めていくのか、考えをまとめさせる。

#### ○事後指導として

- ・授業では、SNS の悪質な投稿や誹謗中傷による人権侵害など、内容項目に関連した事例を取り上げ、指導していく。

## 4 人権教育とのかかわり

インターネット環境の急速な発達により、多くの中学生がパソコンやスマートフォンを使用できるようになった。高度な技術が身近にある一方で、中学生はそれを使いこなすことが困難である。正しく活用するための情報モラルやリテラシーの欠如によるトラブルはいまだに絶えない。

メッセージアプリをはじめとする SNS 上の文字のやり取りは、お互いの表情や声の調子、身振り手振りなどが見えないコミュニケーションである。また、メールと比べて、一般的にやりとりのテンポも速く、短文・単文が中心となるため、自分が伝えたいこととは違うニュアンスで受け取られてしまう危険性もある。そのため、いじめやケンカになることがしばしばある。そのため、正しく活用できるための方法を考えることを通して、真の友情を育んでいくことが必要である。

本時では、本文中に出ていた SNS のメッセージアプリの内容を取り出し、その発言がどのように伝わってしまったのか、その真意は何だったのかに焦点を当てていく。発言者にとっては大したことが無い内容だったとしても、そのメッセージを受け取った側からすると、心が傷つくような発言になることもあるということに気付かせたい。また、リカを誹謗するためだけに作られた別のグループを作り、陰口を言っていた場面にも着目させ、心のすれ違いを大きく深める一因になったことについても考えさせたい。

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

感情的なすれ違いを乗り越えながら真の友情を築こうとする主人公たちの姿を通して、SNS 等のメッセージアプリで正しく自分の思いを伝えようとする心情を育てる。

### (2) 準備

<教師>ワークシート、パワーポイント

### (3) 人権教育の視点【育てたい態度・能力】

- 知性：SNS の使い方により、信頼関係が崩れてしまう危険性があることを理解する。
- 感性：SNS のコミュニケーションが思わぬ誤解や仲間はずれを生じさせてしまうことがあることに気付く。

**(4) 展開**

過程	学習活動 主な発問 (□) 予想される生徒の反応 (・)	時間	指導上の留意点
導入	<p>1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。 ・アンケートの結果を提示する。</p> <p>2種類の記事を見比べてみて、どう感じますか。 A：昨日のライブの平野くん、最高だった！ B：王子様みたいだったよね C：平野くん、かっこよくない(?)</p> <p>・?がないと、平野くんを否定しているように感じる。</p> <p>A：明日スマークに遊びに行こうよ！ B：私も行きたい！ C：何で来るの？(なにで来るの)</p> <p>・「何(なん)」が「なに」になると全く意味が違う。</p> <p>【めあて】相手に正しく思いを伝えるために大切なことは何だろうか。</p>	5分	<p>○仲の良い関係だったとしても、言葉の使い方によって誤解を生む可能性があることを共有する。 (価値理解)</p> <p>○近くの人と意見を交流して、( )内の表現を見たときの感じ方の違いを多面的・多角的にとらえる。</p>
展開	<p>2. 教科書の教材文の範読を聞く。 3. 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p> <p>1つ目のグループトークで、チームの雰囲気はどのようなになったのだろうか。</p> <p>・1つ目では、リカが元気をなくした。 ・始めは優しいそうだが、リカのミスを引きずっている。</p> <p>1つ目のトーク内容では、美希たちの言葉は、リカにどのように伝わったのだろうか。</p> <p>・リカ「もっとがんばらなきゃ。」 ・リカが責められているように感じる。</p> <p>しかし、3人が実際にリカに伝えたかったことは何だったのだろうか。</p> <p>・次の試合には勝ちたい。 ・リカを頑張らせたい。(プラスな気持ち) ・このままじゃ勝てないからちゃんとしてほしい。</p> <p>2つ目のグループトークで、チームの雰囲気はどのようなになったのだろうか。</p>	15分	<p>○生徒には事前に本文を下読みさせておく。</p> <p>○登場人物5人の絵カードを提示し、5人の心がすれ違い始めていることを視覚的にとらえられるようにする。 (人間理解)</p> <p>○登場人物たちが、どのような立ち位置でメッセージを打っているか理解する。(他者理解)</p> <p>○誤解が生まれ、互いの心がすれ違っていった背景に、メッセージアプリがあることを意識させる。 【感性】</p> <p>○2つ目のトーク画面はリカを誹謗するために作られ、陰口を言っている</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つ目では、リカを仲間はずれにしていた。</li> <li>・ 3人だけのグループを作って嫌な感じがした。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       正しく思いを伝えるために大切なことはなんだろうか。(班ごとに発表する)     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思い込みで発言せず、きちんと理由を聞く。</li> <li>・ 相手の気持ちを考えて発言する。</li> <li>・ 人によって言葉の受け取り方が違う。</li> <li>・ 誤解されないように、送信する前に読み直す。</li> <li>・ グループではなく1対1で伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       どうすれば相手を信頼できるだろうか。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何でも言い合える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">       思ったことを全てそのまま伝えてもいいのだろうか。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手を傷つける言い方を避ける。</li> <li>・ 文字だと伝わらないから、直接伝える。</li> </ul>	20分	た場面に触れ、すれ違いを深める一因になったことについて考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1人で考えた後、班で意見交流をする。</li> <li>○ 単なるアプリ使用上のマナーだけでなく、友人との信頼関係が大きく崩れてしまう危険性があることに触れる。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【知性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉で伝える方法に関して考え、それを通じてよりよい人間関係を構築できるよう意識させる。</li> </ul>
終末	4. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返り、数人発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">         これまでの自分を振り返りながら今日の感想を書いてみましょう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親しい仲でも相手を傷つけていないか考える。</li> <li>・ 口で言うのは簡単だが、実際に行動するのは難しい。</li> </ul>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思いを共有できるよう、早く書くことができた生徒に発表させる。</li> </ul>

### (5) 評価

- SNS の使い方を考えることを通して、どのように相手とコミュニケーションを図るべきか多面的・多角的な見方ができていたか。

### (6) 板書計画

